

# 令和6年度クリーンセンターふたば における福島県等の取組について

令和7年3月25日  
福島県生活環境部  
中間貯蔵・除染対策課

# 1 状況確認 (1)

## 概要

### ○目的

- ◆安全協定に基づき、施設の周辺地域の安全の確保について確認
- ◆国による施設の管理・運営及び輸送が適正であることを確認

### ○主な確認事項

- ◆作業の安全性
- ◆特定廃棄物の飛散流出防止対策
- ◆環境モニタリングの実施状況
- ◆事故時及び異常時の対応状況



グリーンセンターふたば（2期埋立地）

## 令和6年度の取組

### ○実施回数【実績】

- グリーンセンターふたば : 6回（6月、8月、9月、11月、1月、3月）
- 輸送（浪江町、飯舘村） : 2回（6月、7月）

### ○結果

- ◆コンベヤ巻き込まれ事故（11/15発生）の発生場所の状況を確認（P.2に記載）
- ◆スクレーパー挟まれ事故（3/12発生）の発生場所の状況を確認（P.3に記載）



輸送の状況（積込作業）



埋立物一時保管施設

# 1 状況確認（2）

## コンベヤ巻き込まれ事故における福島県等の対応

### ○概要

- ◆11月15日にセメント固型化施設において、メンテナンス作業中に作業員の右腕がコンベヤに巻き込まれて負傷したもの

### ○福島県等の対応

- ◆11月19日に大熊町と発生場所の状況を確認するとともに、環境省に対して再発防止の徹底を求めた
- ◆環境省において再発防止策（インターロックの設置など）が講じられたことを受けて、1月17日に大熊町とともに再発防止策の実施状況を確認



事故発生後のコンベヤの状況（11月19日）



再発防止策実施後のコンベヤの状況（1月17日）

# 1 状況確認（3）

## スクリー挟まれ事故における福島県等の対応

### ○概要

- ◆ 3月12日に埋立資材製作ヤードにおいて、設備の修繕作業の準備中に作業員の右手指がスクリーに挟まれて負傷したものの

### ○福島県等の対応

- ◆ 3月19日に大熊町と発生場所の状況を確認するとともに、環境省に対して改めて原因究明と再発防止の徹底を求めた



埋立資材製作ヤード



事故発生後のスクリーの状況（3月19日）

## 2 環境モニタリング

### 概要

#### ○目的

- ◆安全協定に基づき、事業による周辺環境への影響を確認
- ◆国が実施する環境モニタリングの妥当性を確認

### 令和6年度の取組

#### ○調査内容【実績】

調査項目 ※()内は検体種別を記載	実施回数
●空間線量率	4 (6月、9月 <sup>*3</sup> 、 11月、1月 <sup>*3</sup> )
●放射能濃度 <sup>*1</sup> (大気浮遊じん、浸出水原水、処理水、 防災調節池放出水、地下水、河川水)	
●有害物質等 <sup>*2</sup> (浸出水原水、処理水、地下水)	
●ふっ素及びほう素濃度 (河川水)	

\*1：全て検出下限値未滿

\*2：処理水は基準超過なし、地下水は一部基準超過

\*3：有害物質等の調査は9月と1月のみ実施

#### ○結果（暫定）

- ◆地下水のカドミウム及びふっ素について、環境基準を超過（環境省の調査結果と同程度）
- ◆その他の調査はこれまでの結果と同程度であり、周辺環境への影響は確認されなかった（調査項目の一部は現在分析中）